

公共交通によるリニア駅と既存駅等 とのアクセス向上について

令和2年7月7日
山梨県

山梨県内バス路線網の現状について

バス路線網の現状

山梨県内のバス路線は、甲府盆地や富士北麓地域を中心に面的に広がっているほかは、地形制約を受けた谷筋の狭い可住地や中山間地の道路を、一部は鉄道と並行するように運行

甲府盆地内においては、

- ・ 甲府駅を中心として放射線状に路線が運行
- ・ 甲府駅以外では、大型商業施設や病院など、県民の移動の目的地となる場所を起終点とした路線が県内の各地域との間で運行

富士・東部地域においては、

- ・ 富士山駅・河口湖駅を中心に放射線状に路線が運行
- ・ 都留市駅、大月駅、上野原駅などの鉄道駅から住宅地・学校等への路線が運行

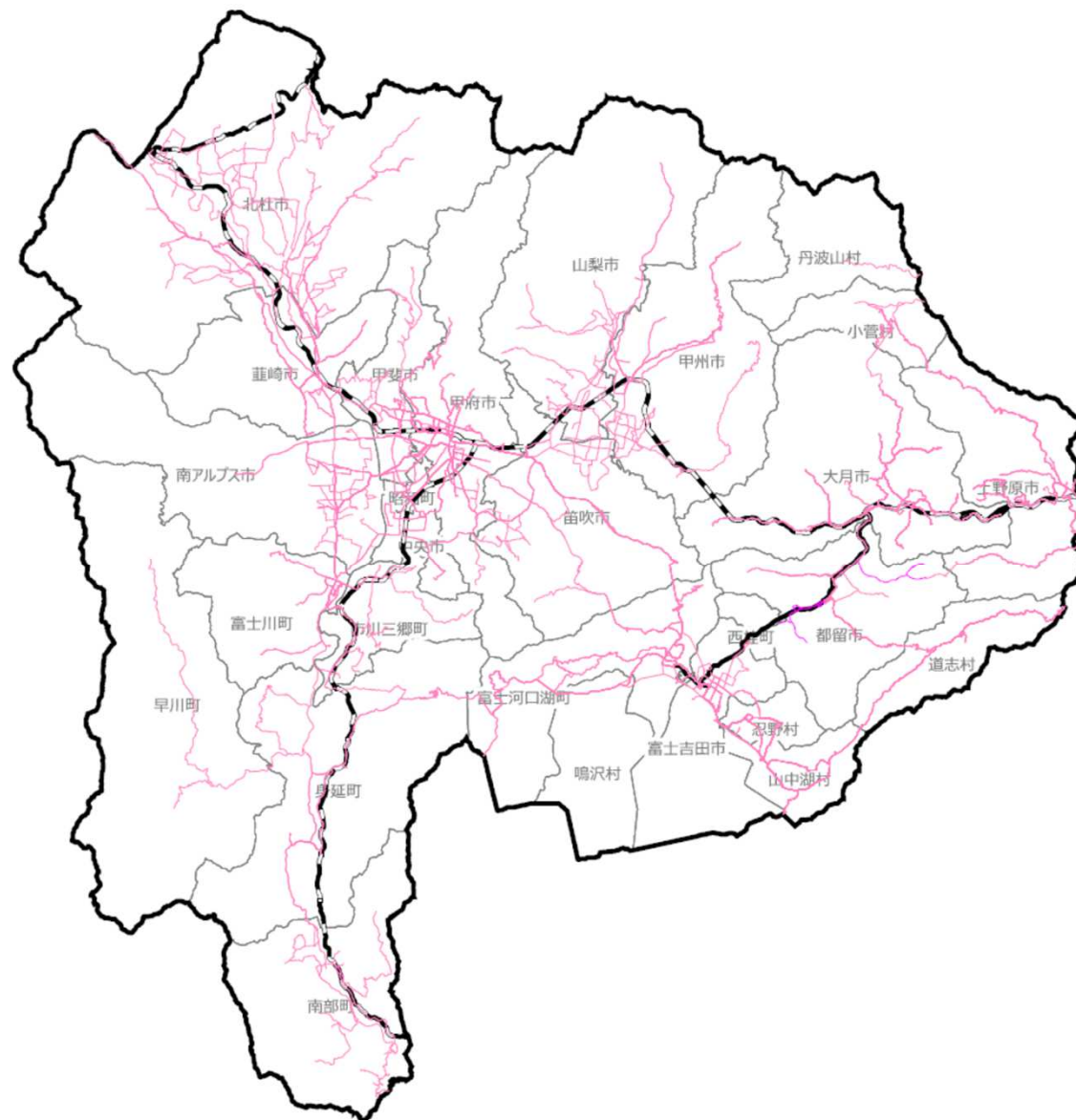


図 山梨県内バス路線網（季節運行を除く）

出典：山梨県バス交通ネットワーク再生計画

山梨県バス交通ネットワーク再生計画について（抜粋）

背景

- ①少子高齢化の進展、観光客の増加
- ②バス交通の弱体化
- ③リニア中央新幹線の開業

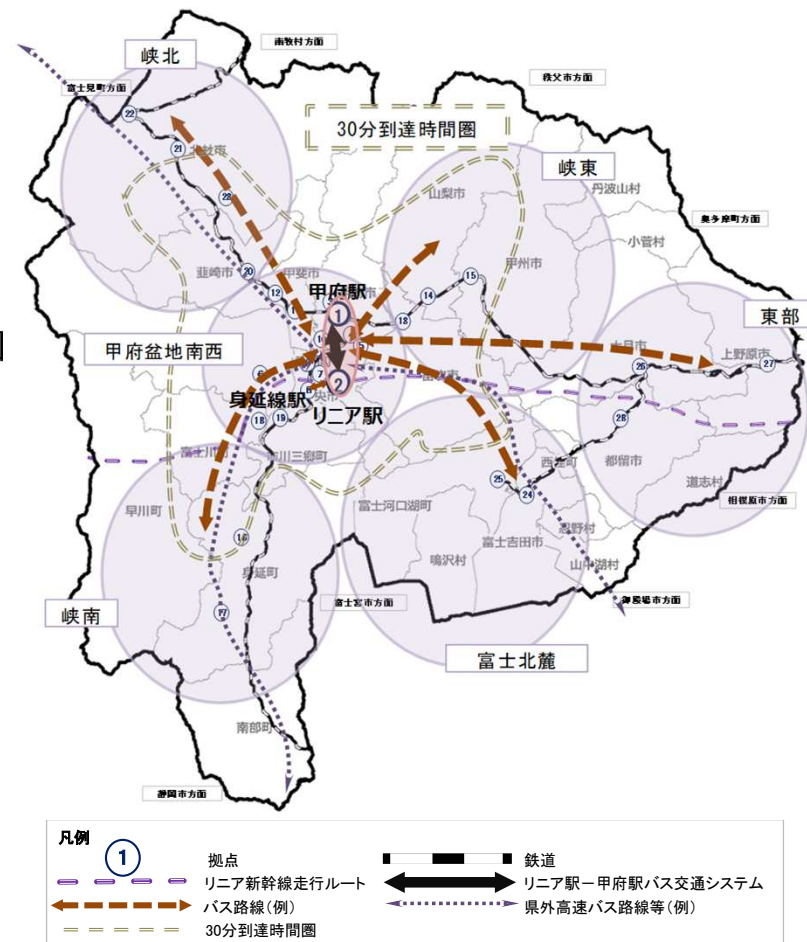
計画の趣旨

- 県・市町村・事業者の連携により持続可能で利便性の高いバス交通ネットワークの構築に向け、基本方針を示すとともに、具体的な取り組みを明らかにする
- リニア開業を見据えたバス交通の在り方を示す

リニア中央新幹線開業を見据えたバス交通

○リニアの開業効果を最大限に生かし全県に波及させるため
リニア駅と県内各地を短時間で結ぶバス交通の確保

- ◆ リニア駅と甲府駅を結ぶバス交通システムについては、速達性、定時性が確保され、ハイグレードなバス交通によるバス交通ネットワークの基幹軸の形成を目指す
 - ・速達性、定時性及び利便性に優れた国道358号（新平和通り）ルートにおいて、交差点改良等による速達性や定時性の更なる向上を検討。今後の交通流動や自動運転システムなどの技術進歩を踏まえつつ交通システムの整備を進める
- ◆ リニア駅・甲府駅を中心に県内外とのアクセス強化に向けバス路線の整備を目指す
 - ・30分到達時間圏の拡大を踏まえたリニア駅・甲府駅と県内各地の主要拠点とを結ぶバス路線
 - ・身延線を活用した円滑な移動の確保に向けたリニア駅と身延線を結ぶバス路線
 - ・県域を越えた広域移動やリニア中央新幹線の利用確保に向けたリニア駅と県外地域を結ぶ高速バス路線



リニア駅ー小井川駅間のシャトルバス整備位置

整備ルートイメージ

